



## 私にとっての「人権」

糸島市立東風小学校五年  
松尾 柚花

「お母さんにとって人権ってなに」とたずねました。「自分の意見や考えを大切にすること」と言いました。お父さんにも聞いてみました。「自分らしく幸せにくらすこと」「みんなのことも大切に思うこと」と答えてくれました。

私は、「自分の意見や考え」を言うことは、少し苦手です。友だちに話しかけられても、うまく言葉が出てこないことがあります。だから、みんなの前で声を出すことも苦手です。だけど、自分の考えを大切にすることは、できている気がします。

「自分らしく幸せにくらすこと」だったら二つあります。私は、お菓子作りが好きで、完成したお菓子を見ると幸せな気持ちになります。妹にあげて「おいしい」と言わ

れた時も、また作ろうとうれしくなります。それと、習っている新体操のことがあります。団体演技のために、みんなと話し合いながら練習をして、先生にほめられると、とてもうれしいです。

「みんなのことも大切に思うこと」は、まずいっしょに明るく過ごしてくれる家族のことが浮かびます。学校のことなどで困った時には、いつも相談にのってくれます。そして、新しいクラスになった時、不安だった私に手紙をくれた友だちも大切な存在です。

こうして考えると、私は私の人権をまわりに大切にされてきたのだと気づかされます。

ニュースで、戦争などで安心してくれない国があることを知りました。今、私の人権は、守られているものだけど、あたりまえのことじゃありませんでした。これからは、困っている人に自分から声をかけられる、相手の人権を守る力を持った六年生になりたいと思います。

## 平和

糸島市立南風小学校六年  
前田 翔成



私は、平和学習を通して「平和とは何か」について考えました。

私が修学旅行に行つて心に残ったものは二つあります。一つ目は、原爆資料館の展示写真です。原爆の影響で家が燃え、ひどい火傷を負った人やなくなった人の写真を見ました。二つ目は、平和の泉です。原爆の被害にあった少女が、喉が渇いていたあまりに、油のようなものが浮いたままの水を飲んだとありました。この2つのものから、原爆は恐ろしいものだということがわかりました。

そして、修学旅行から帰つてきて「平和とは何か」について考えるシンポジウムがありました。そのシンポジウムでは、「平和とは何か?」「今の日本は平和か?」「南風校区をより平和にするためにはどうしたらいいのか?」を話し合いました。私は、先生の「つながり」という言

葉やゲストティーチャーの「校区のことを平和と思っていない人もいるかもしれない」と言っていたことが印象に残りました。校区はごみの問題や事件・事故があまりなく、南風に住んでいる人や小学生同士の挨拶が多いので、私は校区のことを平和だと思っていたからです。だけど、そう思っていない人もいるかもしれないというゲストティーチャーの言葉から、みんなが校区を平和と思えるように、自分がみんなのためにできることをしたり、地域の人に挨拶をしたり、6年生が地域の人と一緒にするラジオ体操や、運動、ウォームハート(\*)をやったりすることで、もっと地域の人とのつながりを強めていきたいと思いました。

私が考える平和とは「戦争や争いがなく安全安心なこと」です。今は昔と比べ戦争がないので、今の日本は平和だと思います。この平和を継続していくためには、一人ひとりがみんなのためにできることをやり続けることが大切だと思います。そして、私は今生きていられることに感謝して生活していきたいです。

(\*)南風小学校・校区の取り組みで、感謝の気持ちや温かい言葉を届け合う活動